

音楽 I レポート No.		楽典 (3)		教科書 『MOUSA 1』		P.150 楽典 P.154 コード・ネーム P.156 キター／キーボード・コード表	
提出日	月 日	氏名		得点		評価	

① 次の音符について、音名（日本語）を1点、2点などの区別を付けて書き、鍵盤上での位置をア～ミから選ぼう。

(各1点=10点)

1) 2) 3) 4) 5)

	音名	鍵盤の位置
1)		
2)		
3)		
4)		
5)		

② 次の楽譜が4小節になるように、正しい拍子記号と縦線を書き入れよう。(各2点=6点)

1)

2)

3)

③ 次に示された音を含む音階の調性（日本語）と種類（長音階、和声的短音階のいずれか）を書こう。(各1点=8点)

1) (調性:) 種類:)

2) (調性:) 種類:)

3) (調性:) 種類:)

4) (調性:) 種類:)

④ 例を参考に、示された音程になるよう上下の音を右側に書き入れよう。(各1点=12点)

例:増4度 長2度 短6度 完全8度 減7度 減5度 増2度

⑤ 左側の2音と同じ音程になるように、示された各音の上に音を書き入れよう。(各2点=10点)

⑥ 次の旋律を短3度上げて、ト音譜表に調号を用いずに書こう。(10点)

⑦ 次に示された和音のコード・ネームを書こう（オン・コードは使用しない）。(各2点=20点)

() () () () () () () () () ()

⑧ 示されている音をルート（根音）にして、コード・ネームの構成音を書こう。(各2点=16点)

E^b G7 FM7 C[#]m Gm7 Bdim7 Asus4 Daug

⑨ 次の文に当てはまる用語や記号をそれぞれ書き入れよう。(各1点=8点)

- ア 長音階の主音と第2音の音と音の間隔は ()、第7音と主音の音と音の間隔は半音である。
- イ 属音は、主音の () 度上の音である。
- ウ イ短調の和声的短音階の第7音は、日本語の音名で () である。
- エ 全ての長調、短調のV度の和音は長三和音、VII度の和音は、() 和音である。
- オ 全ての短調のII度の和音は減三和音、III度の和音は () 和音である。
- カ 音楽用語「espressivo」は、「()」という意味である。
- キ 「そのパートを全員が同じ音や旋律で演奏する」という意味の音楽用語は「()」である。
- ク 強弱記号「()」は、「強く直ちに弱く」することを示す。